



教育センター・育成センター所報

2007年9月号

スイングスワ

中越沖地震特集



震災派遣の基地となった
中浜埠頭から望む米山。
二度とこんな風景は見な
いで済むことを願う。

GALILEI

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版は
柏崎市教育情報支援シス
テムを検索し、トップ画面の
右上「GALILEI」をクリック
してください。

柏崎市立教育センター
柏崎市青少年育成センター

9月号 CONTENTS



今月の巻頭言 「柏崎の教育の灯を消すな」 教育センター所長 種岡 隆夫	1
中越沖地震特集	
● 教育センター施設設備の被害(写真)	2
● 事業の臨時対応計画	3
● 事業の臨時対応記録	4
● センターからのお知らせ	5
● 所員随想「中越沖地震とわたし」	6
教育センターたより	
アクセス(教育研究班・情報教育)	18
中止した講座のこれから・データベース新規登録教材・情報関連講座のご案内 プロジェクト K(科学技術教育班)	22
事業報告(初夏の昆虫観察会, マロニエ昆虫館柏崎展)・不要薬品の処理 心の窓(教育相談班)	23
9・10月の予定・いろいろ体験グループの日程変更・震災後の心のケア相談電話 プラネット(視聴覚ライブラリー)	25
新規教材入荷のご案内・出張映写会・機器講習会のご案内	
青少年育成センター通信	27
9月の予定・高校の下校育成・自動販売機の立入調査・夏を遊ぼう in 苗場の報告	
新聞記事から	33
教育センター9月の予定	38
7・8月の教育センター利用状況	



柏崎は地震対応一色に明け暮れた1か月半でした。両センターとも7・8月の事業をすべて中止または延期を決定し、救援活動や復旧活動に当たりました。被災した所員も多いなか市の災害対策本部から要請があった避難所の世話や救援物資の搬出入などに、猛暑のなか全所員が不眠不休で取り組み、あっという間に時が過ぎて気がつけば秋風が吹き始めています。

各地に設けられた避難所の世話に当たった所員は、水や食料、生活物資の配給、トイレの管理から冷房まであらゆる生活面について夜通し世話に当たりました。極限の状態のなかで人間のわがままや醜さも見られたが、思いやりの温かさや感謝の気持ち、助け合いの心も多く見られたといえます。

一方、ほとんどの行事が中止になった夏休みの子どもたちを元気付けようと、多



くの支援活動が行われました。教育センターでは、栃木県マロニエ昆虫館のご好意で出張柏崎展が開かれ、大勢の親子連れが珍しい昆虫に驚いていました。また、健全育成市民会議と育成センターでは、苗場プリンスホテルのご好意で150人の子どもたちがなえばわくわくファミリーランドに招待されて楽しい1日を過ごすという機会をつくりました。

このような善意のイベントだけでなく、全国各地から復旧のために自衛隊、自治体職員、ボランティアの方々が無言に支援してくださいました。子どもたちはこれらの支援をどのように受け止めたでしょうか。非常時はわがままや自分勝手の気持ちを抑え、困ったときはお互いに助け合うという真のボランティアの姿を学んだのであればいいのですが。(種)

お詫び 8月号は中越沖地震のため休刊させていただきました。

柏崎の教育の灯を消すな

～ 中越沖地震を乗り越えて～



柏崎市立教育センター所長 種岡 隆夫

まさかの大地震でした。3年前の中越大震災で柏崎は大きな被害を出したのですが、それをはるかに上回る震度6強を記録した「中越沖地震」は、平成19年7月16日午前10時13分、何の前触れもなく突然柏崎の大地を揺るがし、死者11人、負傷者約2,000人、被災家屋約15,000棟という大きな被害を出しました。本当にまさかの大地震でした。この大きな被害に追い討ちをかけたのが東電柏崎刈羽原発の火災事故と施設の多大な損傷です。放射能漏れは最小限で食い止められたものの、活断層が直近にあり原発の存在そのものが問われています。

学校施設の被害は一部を除いて比較的小さく、児童生徒も数人の怪我で済んだことは不幸中の幸いでした。当日は海の日で国民の祝日だったのですが、各学校では児童生徒の安全確認に全力を挙げて取り組み、また、避難所が開設されてその対応に全教職員が誠心誠意労を惜しまなかったとして高く評価されました。また、ライフラインの破損が予想以上に大きく、各学校はそのまま夏季休業に入らざるを得なくなりました。生活環境が大きく変化して子どもたちの心の安定が崩れており、夏休みを含めて学校はこれらの対応に全力を尽くしました。

さて、この度の地震の被害額は莫大なものになると思われれます。県の推計では原発関連を含めると1兆5,000億円とみています。建物や道路、商工関係や産業、さらには観光の風評被害など外見では分からない被害も大きいようです。これらの復旧・復興には国や県の支援に頼らざるを得ませんが、柏崎市自身でも大きな負担を強いられます。当然、毎年行っているような予算編成というわけにはいかず、教育費にも大きな負担を強いられるものと思います。安全な市民の生活を確保するためには止むを得ないことであり、復興関連以外の予算減は免れないでしょう。

しかし、ここで強く願うことは、このような非常時において教育予算の減額は止むを得ないものの、人件費を絶対に減らさないでほしいということです。最悪、教育関係の他の予算を抑えてでも、直接子どもたちの指導に当たる教職員や指導補助員、そして教育関係職員の減員は絶対に行わないことを強く望むものです。むしろ、不安定な子どもたちに寄り添うきめ細かな指導を行うためには、さらに指導者の増員をお願いしなければなりません。古今東西「教育は人なり」と言われているように、よい教育を行うには先ず充実した指導陣の確保が必須の条件です。今こそ米百俵の精神に思いを致し、子どもたちへの指導をより深めて伝統ある柏崎の教育をますます充実・発展させていく時と考えます。

復旧が進む青海川
の土砂崩れ現場



中越沖地震被害報告(写真)

柏崎市立教育センター



入口側溝が歩道側から押されて半分の幅になり、グレーチングが飛ばされた。



正面玄関入口の車寄せが6cmほど沈下した。



東側ライブラリー玄関の基礎周りが10cmほど陥没。先の中越地震の陥没と合わせて20cmほどに段差が広がった。



相談研究室入口の片側床面が3cmほど沈下し、ドアが動かなくなった。



ライブラリーのフィルム棚や機材棚が転倒し、多くの機材が破損した。



科学標本室の陳列棚が転倒し、ホルマリン漬けの標本等が破損。臭気を排気した後に片付けた。



教科書センターの書棚が全て転倒し散乱した。全職員で整理・復旧した。

中越沖地震・事業の対応計画

19.7.30 教育センター・育成センター

地震発生後の緊急対応(7/17~7/30)

- 1 市職員(囑託を除く)は市の災害対策本部の指示により出動(避難所世話, 救援物資運搬等)
- 2 小林係長及び長谷川助手は県教委設置の心の相談室に対応(会場: 柏崎小)
- 3 当施設が救援物資の臨時保管所になったため, 救援物資搬出入に全所員で対応
- 4 所内被害箇所の復旧(特に科学標本室, 教科書センター)などに全所員で対応

1 今後の事業予定

(基本的な考え)

- ・ 両センターとも7・8月に予定していた事業は原則として中止する。(7/18 決定通知済)
- ・ 9月以降の事業から予定通り実施する。(柏崎刈羽地区の科学研究と作品展は7・8月の研究期間が必要なため, すでに中止決定済み)
- ・ 中止したもののなかで実施の効果が大きく, かつ復活可能な事業については, 無理のない範囲で10月以降の予定に追加することも可能。

2 当面の活動 臨時対応の活動 柏崎日報・FMピッカラに広報依頼

- 1 県教委「緊急・心の相談室」対応
7月18日より柏崎小学校において開設。8月10日までの予定。当センター小林東カウンセラーと長谷川大カウンセラー助手が常駐して相談に当たる。
- 2 受験生のための施設解放
期日 8月1日~10日(土日を除く) お盆以降は状況により対応
時間 午前9時~午後4時
場所 多目的研修室
対象 高校受験及び大学受験の学生
対応 所員1人ずつ世話役, 名簿記入, 湯茶昼食以外飲食禁止, 往復交通注意
- 3 学校または児童クラブの活動応援
対象 市内で要請のあった小学校・中学校・児童クラブ
時間 午前9時~12時または午後1時~4時
内容 要請のあった施設の活動補助
対応 所員1人または2人(ローテーションで)
- 4 出張映写会の実施
対象 学校または児童クラブ及び避難所で要請のあった施設
内容 ビデオ・フィルムなどの映写会(内容はライブラリー所有のもので相談する)
期日 8月1日~10日(土日を除く) お盆以降は状況により対応
時間 午前9時~午後4時の間で
対応 所員2人ずつ交代で対応
- 5 中浜埠頭の日通倉庫で救援物資搬出入の受付係として応援する。
- 6 ソフィアセンター蔵書片付けの要請があったら対応する。(8月8・9・10日頃か)
- 7 各班の備品等の片付け, 整理
- 8 主として要請に応える活動
教育相談(SSTを含む), 利活用相談, 訪問相談, 要請活動, ライブラリー利用など
- 9 9月以降の事業の準備

中越沖地震・事業の対応記録

19.8.31 教育センター・育成センター

1 臨時対応の活動（両センターとも7・8月全事業の中止または延期に伴う代替事業）

1 県教委「緊急・心の相談室」対応

7月18日～8月10日までの24日間毎日、柏崎小学校において開設。県教委職員、派遣カウンセラーとともに、小林東カウンセラーと長谷川大カウンセラー助手が常駐して相談に当たった。合計相談件数38件、来室者数82人。開設当初は報道取材のため混乱した。

2 受験生のための施設解放

利用数は合計15人と少なかった（主に8月中旬）が、期間を8月末まで延期して（土日を除く）開放した。静かなよい環境で学習できたと受験生に好評であった。

3 学校または児童クラブの活動応援 8/28 星空観察会（皆既月食）刈羽小に対応した。

4 出張映写会の実施

8月24日（金）にゆりが丘子ども会、8月26日（日）に鯨波コミセンの2団体の利用申込みがあり対応した。

5 マロニエ昆虫館・柏崎展示会

8月15日（木）～19日（日）9:00～17:00 教育センター多目的研修室
栃木県マロニエ昆虫館のご好意により、約100箱のチョウ、カブトムシ、クワガタムシなどを展示していただいた。（入場無料）また、昆虫に関する写真掲示、ビデオ放映、講話などをしていただき、来館者は不思議な昆虫に驚いていた。直前に開催決定したにもかかわらず柏崎日報、FMピッカラで繰り返し広報していただき、5日間で650人の入場者が見られた。

6 苗場プリンスホテル招待事業

8月26日（日）8:00～18:00 なえば高原わくわくファミリーランド
苗場プリンスホテルのご好意により、健全育成市民会議と育成センターでは150人の子ども達をわくわくファミリーランドに無料招待し、夏休みの一日を楽しく過ごしてもらった。

2 職員の救援・復旧関連等の活動対応

1 市職員（嘱託除く）は市災害対策本部の指示により出勤（避難所世話、救援物資運搬等）

2 当施設が救援物資の臨時保管所になったため、救援物資搬出入に全所員で対応

3 所内被害箇所の復旧（特に科学標本室、教科書センター）などに全所員で対応

4 上記2・3・4の各事業実施のために、全所員が交代で当番の割振りをして要請に備えた。

5 中浜埠頭の日通倉庫及び市役所倉庫で救援物資搬出入の受付係として勤務した。

8月1日から17日まで、1～2人ずつ交代で勤務

6 ソフィアセンター蔵書片付け応援

8月9日（木）ソフィアセンターの破損した書棚の撤去作業及び蔵書片付けに8人参加

7 マロニエ昆虫展の監視当番

8月15日（水）～19日（日）までの5日間、1～2人ずつ交代で世話係として勤務。

8/14の展示作業及び8/20の撤去作業に全所員で応援

8 罹災証明書発行の支援

8/1～8/17まで田村情報教育主事が対応。対策本部にパソコン14台貸出し。

9 施設利用

8/20 心のケア説明会

8/21 市教委招集

小中学校長会

8/27 定例教育委員会

マロニエ昆虫館・
柏崎展

大勢の親子連れが訪れ、
珍しい昆虫や展示の工夫
に感心する姿が見られた。



教育センター・育成センターからのお知らせ

19.8.21 小中学校長会資料

この度の中越沖地震の被災に対して心からお見舞い申し上げます。

すでにお知らせしてありますように、教育センター・育成センターの7・8月の事業はすべて中止または延期しております。ただし、中学生の「わたしの主張・柏刈大会」は、9月7日(金)にテープ審査による実施が予定されています。

9月以降の事業は、両センターとも当初の計画通り実施いたします。

ただし、夏休み明けで当面は児童生徒の心のケアを最優先しなければならぬため、無理のない範囲で参加してください。

地震による児童生徒の心のケアについては、「児童生徒の相談・カウンセリング」として、これまでの教育相談と合わせて、教育センターカウンセリングルームで承っています。なお、ふれあいルームは8月28日(火)より開始します。

柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会と科学作品展は、7・8月に研究期間が必要であったために中止を決定しております。それぞれ県の大会がありますので、参加を希望される方は科学技術教育班にお問い合わせください。

9月22日に予定していた「トライウォーク・米山海岸」は、コースの損傷が激しいため中止といたします。

復旧が進む青海川の土砂崩れ現場



中越沖地震とわたし

未曾有の大きな被害をもたらした中越沖地震。7・8月のすべての教育センター・育成センターの事業を中止または延期して、救援活動への動員やセンター内部の後片付け、ライフライン復旧までの生活の確保に明け暮れた日が続きました。所報ガリレイは8月号を休刊し、9月号を中越沖地震の特集号として本日発刊いたしました。地震発生以来所員がそれぞれの立場で様々な体験をして、心に感じる事が多くあったと思います。それを「中越沖地震とわたし」として全所員から原稿を寄せてもらいました。

幸せを祈りながら・・・ ふれあいルーム指導員 大島美和

8月16日・・・「黙祷」という言葉に初めて耳と心を傾け、「何するの?」と聞いてきた小4の息子。説明をし終わると時間はちょうど10時13分。一ヶ月前、突然私たちが襲ってきたあの日、あの時の恐怖を思い出しながら、私たちは静かに目を瞑り手を合わせた。

神様はなぜ二度もこの地域を選ばれたのだろう。地震が起きる10日前、長い闘病生活の末に他界した私の母は、年月をかけて、困難や苦しみ、悲しみの中にも必ず小さな喜びや幸せがあることを教えてくれた。以来、私は自分に降りかかるすべてのことに対して、どんなことにもきっと意味があるものだと思っている。この度の地震はどうだろう。当たり前のできる生活の幸せ、住む家があることの幸せ、そして何よりも家族が怪我ひとつなく無事でいられたことの幸せを感じることができただけでも、私には充分意味のある出来事だったのではないだろうか。

命を失い、愛する人を失い、家を失い、職を失い・・・この地震で甚大な被害を受けられた方々が、いつか小さな喜びや幸せをたくさん掴むことができますように。

私たちの故郷柏崎は、意味あって選ばれたものだと願わずにいられない。

工夫する脳

教育研究班指導主事 中野 博幸

今回の地震によって夏期休業中の教職員専門研修が中止となり、避難所対応や物資の搬入作業を行った。その中でとても便利だと感じたものについて書いてみる。

▶ スクーター

2年前に教育センター勤務になったと同時に購入した125CCのスクーターはとにかく大活躍だった。

市の中心部や橋のあるところ、国道が交わる場所では渋滞の発生が慢性的になっていたが、バイクは車の脇を容易にすり抜けることができた。家の倒壊や道路の破損によって車が通行止めになっている狭い路地を通行したり、いざとなれば、エンジンを止めて歩道を押すことで、いち早く目的地に着くことができた。市役所周辺では災害支援やマスコミの車がごった返し、車の駐車スペースの確保が困難であったが、その点バイクは駐車スペースを気にしなくてもよかった。

また、2人乗りが可能なため、人を目的地まで送ることもできた。もちろん、そのために予備のヘルメットを常にシート下に準備しておいた。



▶ ウエストポーチ

T シャツやポロシャツは暑さ対策にはよいが、ポケットがない。必要なものを入れておいていつでも取り出せるウエストポーチは重宝した。

▶ カッター、水性顔料マーカー(黒)、大きいバインダークリップ

ベルトポーチには、財布、職員証、カッター、黒の太い水性顔料マーカー、大きいバインダークリップを常に入れていた。

避難所や倉庫では送られてきた物資の荷紐を切ったり、ダンボール箱を開けたり折ったりするのにカッターは必需品だった。マーカーは物資の個数を記録したり、避難所でのお知らせを書いたりするのに用いた。

普段は職員証を首から下げているが、作業をするときにはとても危険であり邪魔に感じたので、大きいバインダークリップでTシャツやポロシャツの胸に留めて利用した。

▶ 漏斗、サンダル

水道が使えないときには送られてきたミネラルウォーターで水分を取ることが多かったが、2リットルのペットボトルを常に持ち歩いたりラッパ飲みすることもできないので、500ミリリットルに移しかえる必要があった。漏斗はすばやくしかも確実に移しかえるのに便利だった。

また、避難所勤務では建物の中と外を行き来することが多く、サンダルは履き替えが楽で助かった。

このような大きな災害では不便な生活を余儀なくされる。しかしその中で、いかに工夫し生活するかがとても重要であるかということ強く感じた。便利なものをすぐに購入するのではなく、今あるものを組み合わせて使ったり、ないものは自分で作るといった生活を日頃から習慣にしていることが、災害時にあってもたくましく生きることにつながるのではないだろうか。

ジャングルで何日間もサバイバル生活を送るほどの知識はなくても、ガス・水道・電気が使えない中で、家にあるものでせめて1日くらいは家族全員が空腹を満たせるくらいの知識は持っていることが必要だろう。

果たしてこういう知識を子どもに伝えていくのは誰なのだろう。親か、学校か……。

地震 水害 風評 ライフラインと人

学校訪問相談員 滝澤富士男

時代が変われば恐ろしさも変わるものですね。

三年前、地震を体験しその恐ろしさを実感したのですが、その時よりも風評とライフラインの恐ろしさ(不便さ)を身にしみて実感いたしました。

水道とガスが復旧した時の感激、忘れられません。便利な生活になればなるほどその便利さを保つ仕組みが複雑になっているのですね。

地球温暖化のせいでしょうか集中豪雨も頻繁に見られ、被災地の土砂崩れ等の心配もありました。また、風評被害で観光地が大変な状況であるといわれています。

この夏の猛暑で、首都圏の電力事情が危ぶまれました。テレビ等で見ていますと普段の夏と変わらない(それぞれで省エネの工夫をしていると言われてはいますが)風景でありました。「少しは被災地の事を思いやる生活をしてもらいたい。」との言葉もありましたが、何ら変わる事のない首都圏の人たちでした。

思いやりとか、人の心の痛みを理解するのは当事者になってみないと分からないのかな。震災に便乗した抜け目のない行動も目にしました。

やはり一番恐ろしいのは人間かな。心して後世に残さなくては。



地震発生から時間が経ち、少しずつ冷静に周りの状況がわかってくると同時に、疲れが心と体を襲って来ています。中越地震の時と同じですが、本当の戦いはこれからです。

北条のわが家も中越地震で被災して、やっと修理が終わるかというときになって、また家が壊れてしまいました。被害自体は、中越地震の時より大きかったように思います。まだローンの返済もすんでいない中での被災、今回の修理の資金繰りなど所得がそれほど多くない一般的なわが家にとっては、二度の被災を乗り越える蓄えなど無く、頭が痛くなるばかりです。

地震は平等に襲いますが、立ち直る力を皆が平等に持っているわけではありません。身寄りの無いお年寄りや、若くても所得の低い人にとっては、お金を借りる事さえまなりません。世間では格差社会などいっていますが、こういうとき、その格差というものが露骨に表われています。しわ寄せは、必ず弱い人に向けられます。これだけ災害が多いと国や地方自治体への負担も大きいでしょうが、何か手をうつべきです。

最近になって私はやっと前向きになれてきた気がします。「落ち込んでいたり、愚痴っていたりしても仕方が無い」、そう思えるまでの時間というのは人それぞれです。だから私など「がんばろう輝く柏崎」のキャッチフレーズが早々と発表された時などは、ちょっと頭に來ましたが、ここに来てやっと気持ちがそこに追いついてきたようです。私はどちらかというと「頑張ってます柏崎」の方が好きです。だって皆ほんとうに頑張っていますから。



中越沖地震を体験して

カウンセラー助手 栗脇 瞳

今年の4月に、柏崎市に引っ越してきた私にとって、大きな地震に遭ったのは、今回の中越沖地震が初めてでした。これまでは、テレビのニュースなどで別の地域の被災の様子を見るばかりで、心のどこかに自分とは無関係・自分の身の回りには起こらないことという意識があったように思います。

実際に地震に遭ったとき、自宅にいた私は、どんという突然の揺れに、何が起きたか分からず、その場から動くことができませんでした。大きな揺れがおさまった頃を見計らって周囲を見ると、多くの家具・本などが倒れたり落ちたりしていました。外に出てみても、それまで当然のように真っ直ぐであった道や建物が曲がったり崩れたりしていました。地震は、ほんの一瞬で、それまでに人が積みあげてきたものやこれまでは当然であった物事を崩してしまいます。そのことを地震が起こってから後、じわりじわりと感じて、改めて自然災害の恐怖を思い知りました。

その一方で、心が温まることもありました。私が地震後初めて外に出たとき、見ず知らずの一人の中年の女性の方が、私に声をかけてくださいました。「びっくりしましたねえ。私なんて、何だか分からないうちに、お母さんのお位牌持って家飛び出しちゃいましたよ。」大変な状況の中、自分の身を守ることで精一杯であったはずなのに、一番に手にしたものがお母さんのお位牌だということを聞き、本当にお母さんのことを大切にされていると、感動しました。この他にも、同じ地で同じ地震の被害に遭われた方々に、大変励まされ助けられました。お互いに大変さを実感している分、お互いに足りないものは分かち合い、何気ない一言一言にも優しさや温かみを感じられました。また、地震のことを知った遠方の友人や親戚の方々から、次々に私の身を心配しての連絡をいただきました。日常生活では感じられなかった人との繋がりも感じられたように思います。

初めてといえる大きな被災体験を通して、私は、自然災害の恐怖、そして自分と人との繋がりとその温かさを改めて感じました。

人生、一寸先は？

教育研究班嘱託指導主事 猪爪 行雄

今回の中越沖地震で、強く心に残った思いです。中越地震でも強い衝撃を受けましたが、3年も経たない内にまた大地震に遭遇するとは夢にも思いませんでした。そして、今回の地震が平日に起きていれば、教科書センターの本棚の下敷きになってしまったのではないかと考えると人生何が起きるか分からないということです。

今年の教科書展示会が7月6日(金)に終了し、次の週から教職員研修の合間を縫って、小・中・高等学校の展示していた教科書をセンターの書棚に格納していたのです。高等学校の見本教科書をセンターの一番奥、6～7段に積み上げられている本棚の一番下に整理台帳の番号と突き合わせながら整理していたところでした。作業をしていながら、こんな時に中越地震が起きれば自分はこの本棚の下敷きになって死んでしまうなど、何回か思いながら作業をしていたのです。そして、17日(火)以降も台車に乗せていた教科書を整理・格納する予定でした。

地震後、教科書センターの25年間分の教科書が棚ごとひっくり返り、足の踏み場も無い状況を見たとき、余震の心配もあり本当に怖くて部屋の中には入れませんでした。

その後、センター職員の皆さんからも後片付けを協力していただき、現在は高等学校が19年度用と20年度用の教科書、中学校は14年度用と18年度用、小学校は14年度用と17年度用の教科書を保管・閲覧ができるようになりました。また、低い木製棚にして、大きな地震への安心対応もしてあるところです。

どうぞ、今まで同様皆様の御利用をお待ちしております。



憂いを減らす

青少年育成センター指導員 北山 武

私が住む柏崎駅南の城東地区では、中越沖地震の被害は軽度だった。我が家では、地震による転倒防止のため家具を固定したので、物が倒れたり、落ちたりしなかった。また、「治三郎の清水」100リットルを常備していたので、トイレや料理に利用した。備えをしなかった墓石のずれが、最大の被害であった。地区のライフラインは復旧が早く、震災2日後に電気、3日後に水、11日後にガスを使うことができたが、不自由な生活の方々を思うと胸が痛んだ。

私は「水害、地震、火事、原発事故」の順に災害が怖いと思っていたが、「柏崎は過去に何回も大震災があったので地震が一番怖い。」という人がいた。そうかと思うと「これからは原発事故が一番怖い。」という人もいる。いずれにしても、どんな災害が襲来しようとも、行政や事業所・地域の連携と支えを頼りに備えをして、少しでも憂いを減らすようにしたい。

最後になりましたが、今なお震災から立ち上がれない方々の、一日も早い復旧・復興を心から祈念申し上げます。がんばろう！ 輝く柏崎

わたしの震災体験

教育相談係長 小林 東

「君にこれをあげよう。」シリウス・ブラックがそう言って、ハリーポッターに何かを手渡しかけた途端、映画館全体が、最初はズンと沈み込むように、続いて、前後、左右、上下に大きく長く揺れた。揺れがおさまって間もなく非常灯が点灯し、館外へ避難誘導された。息子達とずっと前から楽しみにしていた「不死鳥の騎士団」の先行上映はわずか15分で終わってしまった。その時点では、息子達に「びっくりしたなあ、ヴォ

ルデモートの魔法でも始まったかと思った」などと冗談を言っている余裕があった。

緑の公衆電話を探し出して自宅とようやく繋がり、家内が家族の安否と近所周辺の被害を金切り声で報せるのを聞いて「これはただごとではない」と初めて事の重大さに気づいた。

車に戻ってニュース情報を収集し、途中渋滞に巻き込まれながら、小千谷から回って市内に戻った。小国 北条 田尻と市街に近づくにつれて、異様な光景が目飛び込んでくる。倒壊した家屋が道路を塞ぎ、トラック数台が並んで駐車場の金網をなぎ倒して道路に半身飛び出し、割れた道路から砂泥が噴出していた。副所長と初めて携帯が繋がったのは地震発生から既に4時間経って北条中を通過した頃だった。センターに駆けつけ、職員の安否や建物破損をできる範囲で確認し、当夜は、様々な人でこった返す役所で災害対策本部の伝令やら物資搬入やらに走った。翌日、気が付くと両腕に大きな内出血のアザができていた。

柏崎小学校へ「心の相談室」設置の為に赴いたのは2日後である。18日の柏崎小学校の保健室内は、野戦病院さながらであった。ヘリの轟音や防災無線(が校内一斉放送で5分おき)がひっきりなしに鳴る中、避難所の市民や他市から来た自治体職員、ボランティア(らしき人)、救護班のスタッフ、報道陣、などが次々に保健室にドヤドヤと入り込んできて、とても相談どころではなかった。21日から6日間来てくれた群馬県の緊急派遣カウンセラーが、手となり足となり遮二無二働いてくれて、とても助かった。彼らの姿が神々しく見えた。また、毎日通ったセンターから柏小への道筋は市街地の中で最も倒壊家屋が目立つ通りの一つであり、そこに暮らす人々のことを想うと、痛ましい気持ちにもなった。

心の相談に来た方の中には、倒壊した家屋の中から土埃にまみれて這って脱出し、瓦礫に挟まれて残った祖母と兄弟を助けるために救助を求めて呼び叫んだ、などという凄まじい九死一生体験をした子どもも居て、体験を聴いている私の方も驚愕したほどだ。

つい先日、その子どもの祖母が、退院したばかりの自由のきかない身体でわざわざ私のもとに姿を見せてお礼に来てくださった。本震時、孫達に覆い被さるようにして落ちてくる屋根と梁を背中を受け止めた格好になり、腰を骨折したのだと教えてくれた。「亡くなった夫が孫達を守って助けてくれた。本当に奇跡です。」そう語りながら、涙と同時に、(孫達が)生きている喜びの笑みを満面に浮かべていた。家を失ったことや自分の怪我など気にも留めていないかのように。

私は、これほどまでに美しい笑顔を、今までに見たことがなかった。

災害は、人間を鬼にもするし仏にもする。その人が普段抱えている性根が増幅されて表に現れるからだ。私が心のケアで出会った方々は、みな、仏だった。



明日はいいことがあるかもしれない 副所長 内山正和

間一髪、紙一重、危機一髪 もう少してほんの少して 危ないところ すんでのところ 際どいところ ぎりぎりのところ など一瞬の危険を表現する言葉が多くある。倒壊した家から助け出された人、地震の起きる前に家を出た人、難を逃れられ本当によかったと思う。しかし死傷者も大勢いた。失う時は一瞬で、築き上げていくには何倍もの時間が必要であり、取り返せないものがあることを思うと、災害の大きさを感じる。

全国から大勢の善意が寄せられ、助け合いの大切さを痛感した。応援してくれた人に、柏崎の復興した姿を見せなければならない。

9月2日朝日新聞の天声人語に「生きていてよかったと思う瞬間が、誰にもある。豊かな人生は、生きていてよかったと思う瞬間を積み重ねる作業だ、今日を生きれば明日いいことがあるかもしれない」。

明日に希望を持たなきゃ・・・そして災害は忘れた頃にやってくる！！を肝に銘じて。

まずは地震発生当日、道路事情の悪い中、わざわざ遠方からポリタンクに詰めた水を直接届けに来てくれた同僚に感謝したい。すぐに電話をくれて、何に困っているか確認の上での行動である。彼自身、先の中越地震で大きな被害を受けた地域に住んでおり、自分のつらい経験を周りの人への気遣いという形で生かせるということに頭が下がる思いである。



今回の地震では電気には困らなかったが、水道やガスは復旧に時間がかかり、ずいぶんエコな生活をする事となった。暑い中深夜までの残業が続き、入浴施設が開いている時間には帰宅できなかったため、風呂に入れないのがつらかった。我が家ではたまたま食器洗いに利用していた小さな桶に、やかんで沸かしたお湯と水を入れて、洗髪も含めて一人が桶一杯分で体を洗っていた。水だけ復旧した後、同じようにやかんで沸かしたお湯を湯船に入れて「なんとか湯船につかりたい…」と奮闘したが、2時間もかかってようやく半身浴ができるぬるま湯程度。また、(我が家は4人家族なので)ためしに桶四杯分を浴槽に入れてみたが、浴槽にたまった水は、ほとんど無いに等しい量だった。毎日の風呂がいかに水やガスを使っているかということが身にしみた経験である。



私にとっては3年前の中越地震も忘れることができないが、当時2歳9か月だった新潟地震の記憶も鮮明に残っている。おもちゃのようにゆれる家から逃げ出すときにサンダルを履きそこない、片足のままケンケンで家の裏に避難した。と、そこには丸太と見紛うばかりの大きな蛇が…(後に何度かお目にかかった。「家のぬし」か?)。小さい頃の他の記憶はほとんどないので、それだけショッキングな出来事だったということであろう。

さて、ライフラインも戻り復興へのスタートラインに立った今、子供たちに「怖かった」「つらかった」だけでない「何か」を心に残せるように気配りをするところこそ、私たち大人に課せられた使命ではないだろうか。いざというときの大人の行動は、きっと子供たちの心に残り、忘れられない「記憶」となるはずである。



地震で教わったもの、与えられたもの

育成センター指導員 齋藤 信

平成19年7月16日(月)海の日に柏崎、刈羽地方を襲った中越沖地震が世間に耳目をあつめたのは、被害の大きさがたつたのかそれとも原発への災害だったのか。それはともかく地震はさまざまなものを与えた。もちろん災害も含めて。本当に倒壊した家、物置、車庫、神社仏閣を眼前にし、自然の大きな力を身に染み、感得した。

この地震により多くの善意のありがたさを強く感じた。自衛隊の救助・救援、救援物資の搬入、炊き出し、仮設風呂の提供、そして県内外の方からの災害派遣の協力隊(全国から)、ボランティアの方々に、感謝の意を尽くしても尽くし仕切れないほどいただいた。この地震でも人は一人では生きられないことの実感した。そしてまた、返ってくる言葉が一様に「お互い様ですから、」「わたし達はあの のときに助けていただきましたから。」という言葉が。またまた、感謝の気持ちを強くした。

このような緊急の事態の場面では人間はいろいろな面を見せるようです。よい面もそして醜い面も。できれば目にしたくない行為や行動、言葉をも。

今年度のトライウォークはこの地震のため、中止を余儀なくされた。その代わりではないのですが、苗場プリンスホテルなえば高原様方々のおかげで、「夏を思いっきり楽しもうin苗場」が実施されました。そこで子供たちが思いっきり夏を楽しむ様子を見て、子どもたちをはぐくみ、育てるのは、親はもちろんですが、地域・社会も関わっていることをつくづく感じました。

すべてが いとおしい

カウンセラー助手 本間良子

馴染み親しんだ風景が消滅していく。大きく歪んだ線路、その上に崩れた斜め向かいの家、通りに面した住宅が何件も崩壊し道を塞ぐ、震災直後、自宅から表に出た私が目にした光景は、一瞬にして凄まじいものだった。毎日のように通っていた閻魔通りはとてつもなく無残な姿に形を変え、私たちの生活と心にもたらした衝撃の大きさを物語っているかのようであった。

昨日まで確実に在った生活を容赦なく荷台に積み込み廃棄するトラック。昨日までここに何が在ったかわからないほどの更地。日々姿を変える街並みに、涙が出るほど切なくなる。ましてや自宅を失くされた方たちの焦燥感は計り知れない。ここで育った夫や子どもたちも何か大事なものを失くしたような受け止めだった。長男は帰省した際に、青海川から刈羽村まで自転車で走り回り何かを焼き付けて帰っていった。柏崎へ嫁いで二十数年、いまだに他所の人という思いがあった私であったが、愚痴や不安の言える常に安定した平穏な私の日々は、この地の人々が、営みが、何も変わらぬ風景が支えてくれていたのだと痛感した。

今、すべてが、いとおしい。どうか、皆さんに少しでも早く穏やかな日々が戻りますように。家族や地域や街並みやこの地に感謝、支援に当たって下さった大勢の方々、人のつながりの温かさに感謝しながら皆さんとともに一步一步先へ進みたい。また、地域内は騒然とした状況だが、近所の子どもの声が、確実に戻りつつある健やかな時を知らせてくれている。



備えるならば

科学技術教育班 吉田 美保子

今回の地震で、水道から飲めるきれいな水がでてくる事がいかにすごいことで、ありがたいことかを実感しました。

家の片付けをしようとしても雑巾を絞る水がない。トイレも流せない。お風呂はもちろん、洗濯、食器を洗う、食材を洗う、調理をする。すべてにおいて水が必要で、普段なら蛇口をひねればこの水を確保するために相当の労力を必要としました。

欲張りな私は20リットルポリタンクをいっぱいにして運ぼうとしたのですが、これまた重いこと。2リットルのペットボトルでは手間がかかるし……。そんな時給水所で、とっても便利な「給水袋」というものをもらいました。それは厚いビニール製でもち手があり、水を入れる口は長く給水車の蛇口にいれ、水を入れれば底が安定して、袋を支えてなくても給水でき、その口を折りたためばこぼれない。キャップを取り外しする手間もなく、使い終わったらぺったんこになり、つぎに持っていく時もかさばらず、軽い。そしてなんとと言っても魅力的な大きさ6リットル。この大きさは大人でも4歳の子でもも持つにちょうどいい大きさでした。

この給水袋にはある市の名前が入っていました。災害を想定し、このような便利で、使いやすいものを採用し用意してあるなんて、すごいなと関心すると同時に、使い捨てではなく、何回も使うに耐えられ、使う人の疲れを減らせる。この袋はたくさんの人のやさしさがあって作られたのだと感じました。ただ水を入れられる容器・袋を用意する、いっぱい入れればいいものではなく、使う状況を考えた思いやりのあるものが本当に便利なもので、必要なものなんだなと思いました。またこのようなものを備えておかなければならないのだと強く思いました。

地震により、一瞬にして今までの生活を奪われました。しかし、そんな私たちを励まし、復旧に力を貸してくださった多くの方がいること、たくさんの救援物資をいただき、便利なものを使わせていただけたこと、水やガスが自由に使える生活が、あたりまえではなく、恵まれ、幸せなんだということを忘れずに、大切に無駄遣いをすることなく感謝していきたいと思えます。



地震対策とは？

科学技術教育班研究員 植木 厚夫

「緊急地震速報です。震度6強。地震到達まであと3秒、2、1…」

1つの地震には2種類の揺れがある。最初に来るカタカタという小さな横揺れと、後からやって来るグラグラと突き上げるような大きな縦揺れだ。緊急地震速報は、どこかで小さな揺れを観測すると、周辺各地に大きな揺れが到達する前に、予想される震度を各地に伝える画期的なシステムである。昨年の8月1日より公共施設などを中心に、試験的、限定的な運用がなされてきた。一般向けには来月、10月1日より本格運用される。

この速報を目にした時の自分の行動を想像してみると、「机の下に隠れて、揺れがおさまってから避難し、そのあと救援作業に向かうのかな」なんていうことが頭に浮かぶ。しかし今回の中越沖地震を経て、果たして本当にそのような行動がとれるのだろうか、と自分を問い直すこととなった。

そもそも「避難して、救援作業」というのは、自分の身体が無事だった場合のことである。「自分が救助される状況になったら…」ということの思いもしなかったのはなぜだろう？と、少し不思議に思った。今までに経験した大きな地震はこれで3度目。阪神淡路、中越地震、中越沖地震と被災し、甚大な被害を目の当たりにしてきた。…にもかかわらず、である。何だか自分の危機意識が不足しているのではないかと心配になった。

7月16日、午前10時13分、座っている私の膝の上に向かって1mほどの距離を飛んできたテレビを抱え、アパートの部屋の中をごろんごろんと転がることになった。タイヤを抱えたパンダのようになりながら、「おい、おい、おい…、これはでかい」などと思いつつ、自分の周囲の景色を不思議な気持ちで眺めていただけであった。後で思い出してみると、机の下へもぐろうなどとは全く考えもしなかった。荷物の山からようやく這い出してみると、本棚が壁を突き破ったりしている様子を見て驚いたが、その景色も現実のものとはにわかに信じがたいものがあった。そして、ゆれ始めたときのあの「まあ、おさまるだろう…」と、夢を見ているような心境は何だったのだろう。

救援物資の搬送に明け暮れていたときには忘れていたが、しばらく後に「正常性バイアス」という言葉を思い出した。(バイアスとは、偏見、先入観のことだそう)。パニックを起こさないよう冷静さを保とうとする心のはたらきにより、大変な危機的状況においても、危険を危険と感じる心が鈍くなってしまうことがあるという。皆さんは、「おっ、この揺れ大きいぞ。」とか言いながら、お互いに顔を見合わせているだけ、なんていう経験をしたことはありませんか？一人だけ机の下にもぐっても、すぐに揺れがおさまったら恥をかくかもしれない、なんて気持ちが頭をかすめたり…。

今回ゆれ始めた時、もしくは過去の地震の時の自分の行動を思い出すと、やはりこの正常性バイアスがはたらいていたのではないかと思う。

揺れが大きいと思いながらもすぐさま身体を守るような行動をとろうとしなかったり、自分の行動を予想した時に当然自分は大丈夫だろうと無意識に思い込んでしまっていたりしたのはこのためであろう。

自分を守るために冷静さを保とうとするはずの心の仕組みが、逆に自らの身体を危険にさらすことにもなりうるとは...

たとえ緊急地震速報を目にしても「秒あったら、火を止めに行く。秒しかなかったら必ずここに身をかくす」などのように、その場に必要と思われる行動パターンをよほど強く心に決めておかなければ、とっさに行動に移すことなどなかなかできるものではないということがよくわかった。

文部科学省による活断層調査により、日本の陸域に約2000の活断層が確認されている。そのうち調査が進んでいるのはおよそ100。詳細の不明な活断層が動くのは、まさに次の瞬間かもしれない。日本列島全体が地震の活動期に入ったと地震学者達が警告を発している。「揺れてもすぐにおさまらさう...」「自分だけは大丈夫だろう...」というような感覚が、無意識に自分の中に生まれる危険性があると自覚することから、今後の地震対策を始めようと思う。

中越沖地震では、長野県飯綱町に緊急地震速報が出されてから震度6強の揺れが到達するまでに20秒のゆとりがもたらされた。

もしも今、この場所で「地震到達まであと10秒」といわれたら、皆さんはどのように行動されますか。

心の地震対策は、お済みですか？



危機一髪

教育相談班ふれあいルーム指導員 矢嶋信昭

2007年7月16日10時13分。この時間が少しずれていたら私は今、この世にいなかった。前日まで雨が続いて当日は晴れたので蔵の窓を開けるために入っていた。地震発生のちょっと前のことである。その蔵は大音響と共に倒壊した。

地震発生時、畑の草を取っていた。神社の灯籠は3年前の中越地震で倒壊し立て直されていた。神社の近くでありその近くで作業する時には灯籠を意識して作業していたのでとっさにその場を離れなければと思った。しかし、揺れがひどく立ち上がることができず四つんばいの状態でやっと移動した。あとで見ると、自分のいた所に灯籠の一部があった。

家族の何人かが危機一髪を経験した。命があって良かった。これが今回の地震で感じたことである。

私の住んでいる地区は被害が大きかった。家族はそれぞれの職場に釘づけになり地震の後始末は、主に私の仕事となった。いろいろなことがあったが気が付いたら秋になっていた。7月16日以降時間が止まったような感じだった。最近、やっと時間が動き出した。

踊る緊急支援最前線

家庭訪問相談員 長谷川 大

今回の中越沖地震で被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

今回の震災を通して深く印象に残ったことは、現場の大混乱ぶりや外部の方たちからの支援のありがたさでした。私は、小林係長の助手として柏崎小学校に設置された「子どもたちのための緊急こころの相談室」のお手伝いをさせていただきました。

震災後、柏崎小学校にはじめて入った際、いきなり目に飛び込んできたのは、ボランティア(?)の方が職員室に怒鳴り込んでいる場面でした。柏崎小学校は、周辺の被害が激しく、特に大変な被害にあわれたお子さんもいらっしゃいました。その上、避難所をはじめ、保育園、福祉施設、県教委の「こころの相談室」など、様々な施設を受け入れ、様々な不測の事態が起こる中で、校長先生をはじめ、教職員の先生方のご苦労は大変なものだったと思います。そして、緊急支援の体制を整える上で、それを最も困難にしている要因のひとつとして感じられたのは、指揮をとる方々、現場で中心となって動く方々自身が「被災者である」ということでした。自分の家の片づけ等もままならず、休みなしで出勤されている先生もいらっしゃいました。このような時こそ、遠方で指揮をとられる中央の方々の冷静で的確な判断・指示をあおぐのが良しなのですが、お互いに混乱していたのか連絡がうまくとれず、現場の人間の判断で動かざるを得ない場面も多々ありました。加えて今回の震災では、県内でも被害が大きかったのはほとんど柏崎市内のみであったので、実際に柏崎市内の騒然とした様子と他の市町村の平穏な様子とでかなりの温度差があったように思います。そのあたりも、現場と中央との連絡がうまくかみ合わなかった要因のひとつであったように思います。

そして、現場に入って驚いたのが報道陣の数の多さでした。「こころの相談室」開設当初は一日に十数社ものマスコミの方々が相談室へ取材に来られ、臨床心理士の先生方が対応しておられました。保健室の中に設置された相談室のすぐ外の廊下には、取材の順番待ちのマスコミの方々が列をつくって並んでいました。相談が終わり、相談室から出てきた親子に取材を申し込もうとするマスコミの方もいらっしゃいましたが、とても残念な気持ちになりました。鳴りやまないヘリコプターの音や広報、様々な人でごったがえす校内や避難所のガヤガヤした感じの中、「緊急こころの相談室」の意義とは何ぞやと、無性に考えたくなる一日でした。

それでも、県外からの救援物資や、人的支援は被災された方々にとって大変ありがたいものでした。特に、自衛隊の方々のご活躍ぶりは素晴らしいものでした。ある学校の避難所では、早い時期から外国人のボランティアの方が子どもたちと一緒に元気に遊んでくださっていました。群馬県からいらっしゃった派遣カウンセラーの方々には、来談者の心のケアの他にも相談室の引っ越し作業など力になっていただきました。そして天皇皇后両陛下には多くの被災者の方がやすらぎと勇気をいただきました。校内は騒然としていましたが、両陛下が校内に入られた瞬間に水を打ったような静寂に変わりました。近くでお姿を拝見することはできませんでしたが、肌で感じる圧倒的な存在感には感服いたしました。

この震災を通して、緊急時の心のケアの最前線でのお仕事をお手伝いすることができました。様々な臨床心理士の先生方ともお会いすることができました。この経験を活かし、有事の際には立派に皆さんのお役にたてる一人前の臨床心理士になれるよう精進していこうと強く決意いたしました。

また、大変なご多忙の中、お世話をしてくださった柏崎小学校の先生方との素敵な出会いもありました。最後にこの場を借りて感謝を申し上げたいと思います。本当にどうもありがとうございました。



病院での長い一日

科学技術教育班嘱託員 藤田 進

「災害は忘れた頃にやってくる」という言葉は、夏目漱石門下生の一人で物理学者寺田寅彦の名言である。新潟地震から四十余年で中越地震、それからわずか三年ほどで今回の中越沖地震である。地下で眠る寺田寅彦は何とと思っているだろうか。社会人になってからこれまでで3回の大きな地震に遭遇したことになる。新潟地震では学校の休みを利用して遊びに行った大学の研究室で、中越地震では自宅の庭で、この度の地震では刈羽郡病院の6階の病室であった。

看病で一夜を明かした妻と交代するために病院に来ていた。その揺れは突然であった。ごく短時間の上下動に続いて、大きな横揺れに変わった。ここは病院の6階である。ゆっくりした大きな振幅である。病室のベッドを必死におさえしていると脇にあったサイドボードも動き出した。気がつく片手でベッドを、もう一方の手でサイドボードをおさえつけていた。点滴中の義父は驚いてベッドから立ち上がろうとするので「寝ていて」と制止するのが精一杯であった。直後に看護師さん達が慌ただしく廊下を走り周り、「大丈夫ですか」と各病室を見回りだした。談話室で電話をかけに行っていた妻が驚いて病室に戻ってきた。間もなく、焦げ臭い臭いととも窓際に黒い煙が見えたが間もなく消えた。どこかで火災が発生しかけたのだろうか。

震源はどこだろうとテレビを点けようとリモコンを捜すが見あたらない。ベッドの下に落ちていたリモコンを見つけたがスイッチが入らない。非常灯は点灯しているが院内は停電とのことである。病室前のナースステーションで携帯ラジオの音が聞こえてきた。「震源は柏崎だ」大きな余震があるにちがいない。中越地震の時は本震から間もなく数回も大きな余震があったのだ。今、家には誰もいない。家はどうなっているのだろうか心配だが、余震のことを考えると病人を置いて動くわけにはいかない。看護師が病室入口のドアを開けた状態で紐を使って固定しにきた。余震でドアの開閉が出来なくなるのを防ぐ為とのこと。ラジオが市内の被害の状況を伝えだした。病室から見えるバイパスは普通に車が走っているので、被害の状況は想像もできない。

エレベーターが使えないので階段を下りて病院脇の喫煙場所へ行く。休日・夜間出入口の廊下に何人かの怪我人が診察順番を待っている姿が見られた。しかし、次々と救急車が怪我人と思われる人を搬送してきており、会計窓口前の椅子の所にも怪我人で埋まっていき、付き添いの人も含めると周辺はごったがえした状況になってきた。

余震が起こらない様子なので、とにかく家の状況を見に帰った。幸いにも何処にも被災の跡はなく、本箱やタンスの上の人形類が2～3個落下したり倒れたりした程度であった。途中で寄ったガソリンスタンドも我が家も電気は正常であったが、ガスと水道は止まった状態であった。帰りには食料と水を確保して病院に戻った。この頃になると、外来受付前の所にも怪我人が溢れるようになった。県内各地からの医療斑の姿も目に付く。また、マスコミのフラッシュやテレビ用ライトの点滅が激しくなっていた。

大きな余震はないかもしれないと、午後3時頃になって妻が家に帰った。しかし、間もなく大きな余震が起きたがベッドが動くほどの揺れでなく、心のそなえがあったので比較的冷静に対応することができた。でも、何時また大きな余震がくるか心配である。6時頃にナースステーションに新聞の号外が多数配られたので見せてもらう。多数の倒壊家屋や道路の決壊の写真が載っており、改めて被害の大きさに驚いた。病室という隔離された中に居ると、情報は殆ど入らない。9時過ぎに妻と代わるまでの一日は非常に長く感じられた。



感謝の気持ち

庶務・視聴覚ライブラリー 岡村 美保

中越沖地震からもうすぐ2ヶ月が経とうとしている。中越地震の記憶も冷めないなか、こんな短期間にまた大きな地震を体験するとは夢にも思っていなかったというのが正直な気持ちだ。でも本当に災害はいつどこで起きるかわからない。そのために日頃の備えが大切なんだと改めて思い知らされた。電気、水、ガスなどふだん特別に意識せず不自由なく利用していたものが全て使えなくなったことは本当につらく大変だった。今までの生活のムダを心から反省しこの経験を忘れずにいたい。

今回の地震も前回の地震のときも地震発生時は外出していた。中越地震の時は夜だったせいか地震の被害がよく見えず頻繁に起きる余震の中ただ大変なことになったという気持ちだった。今回は発生から自宅へ戻るまで、自分の視界に次々と飛び込んで来る信じられない光景にただ

驚き、連絡が取れない家族のことが心配でたまらなかった。無事に会えて本当に安心したがこんな気持ちはもう味わいたくないと思う。3歳になる甥っ子は生後一ヶ月のときと今回と3歳にして2度も大きな地震に遭った。前回の時の記憶はもちろんないだろうが、今回の大地震でとても怖い思いをしたらうに、その後怖がるそぶりも見せず「地震とたたかうぞーっ！！」などと逆に大人を元気付けてくれる。地震後の片付けに疲れて外に出ると地震前と変わらない空の青さや草木の緑、田んぼの実りはじめの稲を見ては癒された。倒壊し無残に変わってしまった風景に心が痛むけれどそれでも変わらないものもある。辛く悲しいことも起きるけどいろいろな人たちの支援や大切な人たちの支えがあることに心から感謝したい。



4度の涙

所長 種岡隆夫

天井の梁がはずれ、床が波打ち、戸が歪み、壁の隙間から外が見える。棚やタンスが倒れてあらゆるものが投げ出され、足の踏み場もない。揺れが収まり家の玄関に入った瞬間、地獄絵を見たようでした。石塀と門柱がぱっきりと倒れました。倒壊は免れたものの一瞬にして激しく損傷した我が家を見て、急に涙が溢れました。思えば25年前、多額の借金をしてようやく建てた我が家、教職生活の後半をしっかりと支えてくれた我が家、子どもを育て孫もできて遊びによく来た我が家、一面に生やしたコケの庭で癒された我が家、これまでの出来事が走馬灯のように駆け巡りました。これまでのささやかな努力が無になってしまったような虚しい気持ちになりました。無念の涙でした。

家族親戚等の安全を確認したり、勤務先・町内会・家内の民生委員としての担当者の確認に奔走したりしているうちに宵闇が迫ってきました。電気・ガス・水道が絶たれ、傾いた車庫にローソクの明かりを灯し、家にあったものを持ち出して食べ、不安な眠れない夜を過ごしました。これからどうしていったらよいか、明かりを眺めながらぼんやりとして考えていました。車の中で寝ようと空を見上げたら、あまりにもすばらしい星空に驚きました。辺りが真っ暗なために小さな星もよく見え、まさに降り注いでくるような満点の星空でした。あまりの美しさに涙が溢れました。その裏には、何で自分だけこんな惨めな思いをしなくてはならないのかという思いがあったようです。若いころ、妙高の氷沢で野営して見た星空を思い起こしました。感動の涙でした。

翌日から次々と見舞いや応援の人が訪れました。子どもや兄弟などの親戚、友人知人が遠くから心配して駆けつけてくれました。小千谷からは中越地震のときにお見舞いに行った先輩や同期の人から格別温かい応援をいただきました。水や食料はもちろんのこと、カセットコンロ、簡易テーブル、そして発電機まで用意してくれて本当に助かりました。お陰で車庫で過ごした1週間の避難生活は何とか無事に過ごすことができました。大勢の人が駆けつけてくださり、その温かいお見舞いの言葉と励ましをいただいて涙が溢れてきました。通じない電話を何回も回して下さった方も多く、後で葉書をいただいて分かりました。多くの方々の支えで元気を貰うことができました。感謝の涙でした。

踏み場のない家の中を、駆けつけた大勢の皆さんの応援を得て片付けに取り掛かりました。食器類、本類、日用品、衣類などが入り混じって、まさに足の踏み場もありません。一つ一つのを分類しながら片付けるわけには行きません。応援の人に何でもいいから燃やすものと燃やさないものの袋に入れてもらうのが精一杯です。お蔭様で2日ほどで大方のものを片付けていただき感謝しています。しかし、大切なものまで捨ててしまったものも多いようです。みんなが帰った後、家内が残されたごみの山の中から息子たちが子どものときの写真を探し出して泣き崩れてしまいました。万感胸に迫るものがあったのではないかと思います。悲しみの涙でした。

自分の生活を大きく変えた中越沖地震の4つの涙を乗り越え、新しい生活を築くべく頑張ってまいります。多くの皆様の心にしみる温かいご支援に心から感謝いたします。

No.73	平成 19 年 9 月 5 日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610
-------	-------------------	------------	--

夏期休業中に実施予定だった教職員専門研修講座について

地震により実施できなかった研修講座は、一部の講座について日程や内容を変更して実施することになりました。9月からの講座は予定通り実施いたします。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、今回実施できなかった講座については、要望があれば個別に相談に応じますので、ご連絡ください。

7/25(水)	情：	ホームページ作成入門	▲中止
7/30(月)	情：	中学校における ICT 活用の指導法	▲中止
8/1(水)	研：	市内文化財巡り	▲中止
8/1(水)	科：	小学校 5 学年「流れる水のはたらき」	▲中止
8/1(水)	研：	教師のための英会話講座 1	●10/9(火)、10/10(水)に実施
8/2(木)	研：	モラルスキルトレーニング	●12/25(火)に 1 日日程で実施
8/2(木)	研：	教師のための英会話講座 2	●10/9(火)、10/10(水)に実施
8/3(金)	研：	特別支援事例検討	▲中止
8/3(金)	研：	エコ・クッキング	▼検討中
8/3(金)	情：	PowerPoint によるプレゼン作成入門	▲中止
8/6(月)	研：	環境教育実践プログラム	●10/12(金)に実施
8/6(月)	研：	事務職員のための組織マネジメント	▼検討中
8/7(火)	研：	算数数学教科指導法	●12/7(金)に実施
8/7(火)	情：	小学校中・高学年における ICT 活用の指導法	▲中止
8/7(火)	研：	中学校家庭科教材研究	▼検討中
8/8(水)	研：	学校図書館運営	▼検討中
8/8(水)	情：	Word 入門	▲中止
8/8(水)	情：	Word 活用 1	▲中止
8/9(木)	研：	社会科教材研究	▲中止
8/9(木)	科：	小学校 6 学年「大地のつくりと変化」	▲中止
8/10(金)	研：	海岸巡検	▲中止
8/10(金)	情：	小・中学校における情報モラルの指導法	▲中止
8/20(月)	研：	マーチングバンド講座	▲中止
8/20(月)	研：	学級経営	▼検討中
8/20(月)	情：	Excel 入門	▲中止
8/20(月)	情：	Excel 活用 1	▲中止
8/22(水)	科：	中学校 2 分野「天気とその変化」	▲中止
8/22(水)	研：	WISC-III 入門	●12/26(水)午前に実施
8/22(水)	研：	WISC-III による事例検討	●12/26(水)午後に実施
8/22(水)	情：	Word 活用 2	▲中止
8/23(木)	科：	小学校 5 学年「台風の接近」	▲中止
8/23(木)	研：	教師のための英会話講座 3	●10/9(火)、10/10(水)に実施
8/23(木)	情：	Word 活用 3	▲中止
8/24(金)	研：	教師のための英会話講座 4	●10/9(火)、10/10(水)に実施
8/24(金)	研：	川での投網体験	▲中止
8/24(金)	情：	Excel 活用 2	▲中止
8/28(火)	研：	中学校技術科教材研究	▼検討中

研：教育研究班、情：情報教育主事、科：科学技術教育班が担当

■ ■ ■ 教育情報支援システム情報 ■ ■ ■

📁 教材データベース新規登録教材

登録日	教材名	説明
H19.6.28	キッドピクススタンプ一覧	キッドピクスに用意されているスタンプをテーマごとにまとめて一覧にしたもの。
H19.6.28	キッドピクスツール説明	キッドピクスの使い方を説明するために用意したもの。
H19.6.28	キーボードと文字入力説明図	キーボードの使い方の説明のために用意した図。
H19.6.28	柏崎市の導入機器とサポート体制	平成18年度時点で柏崎市の小中学校に整備されているIT環境とその支援体制を図化したもの。
H19.6.28	マウスの説明	マウスの持ち方、使い方の説明のために用意した写真と図。
H19.6.28	パソコンの写真	電源の投入、切断の説明のために用意したパソコンとキーボードの写真。
H19.6.29	フィルタ解除・適用手順	各校のサーバーに導入されているフィルタリングソフトのON/OFFの手順書。
H19.6.29	フィルタリング設定方法	各校のサーバーに導入されているフィルタリングソフトの設定マニュアル。

📁 講習会のテキスト・資料を登録しました

実施日	講座名	教材名(リンク)	サムネイル/備考
H19.6.29	小学校低学年におけるICT活用の指導法	小学校低学年ICT活用の指導法.pdf	テキスト第1版(H19.06.29)
		パソコンの写真.pdf マウスの説明.pdf キッドピクスツール説明.pdf キッドピクススタンプ一覧.pdf キーボードと文字入力説明図.pdf	上記「教材データベースに登録したものと同じです。
H19.7.6	保健統計	保健統計.pdf	テキスト第3版(H19.07.06)

■ ■ ■ 情報関連研修講座情報 ■ ■ ■

📁 もうすぐ実施される情報関連講座のご案内

◆H19.09.14(金) ネットワーク提供型コンテンツの活用 ◆

インターネットの基礎知識、IT の活用イメージやコンテンツの種類・特徴について学び、教育情報ナショナルセンターなど、インターネット経由で利用できる教材の利用手順を学習します。また、柏崎市教育情報支援システムやコンテンツサーバーの役割や利用の仕方についても併せて学習する予定です。インターネット上にある教材(コンテンツ)を使ったことがない、支援システムやコンテンツサーバーの役割がよく分からない、以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。

柏崎市教育情報支援システム、コンテンツサーバー
授業における IT の活用、提示型のコンテンツ、体験型のコンテンツ、Flash、Java アプレット、
教育情報ナショナルセンター、教育用画像素材集、理科ネットワーク、
ブラウザのお気に入りへの追加、リンク集の作成

◆H19.09.26(水) Word 活用 4(指導案の効率的な作成) ◆

指導案のような複数ページにまたがる表を、効率的に作成するためのポイントについて学習します。Word の作表機能をうまく使えない方や、指導案の様な文書の作成に苦労されている方はぜひ受講してください。

◆H19.09.27(木) 基礎から学ぶ ICT 活用③(スクーリングその2)

メールによる情報交換や訪問支援を織り交ぜながら、年間を通してパソコンやネットワークの基本的な活用方法について年間を通して学習するコースの3回目です。

◆H19.10.02 (火) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A 6 回目

16:00～18:30 の間、担当が様々な疑問やトラブルの解決などの相談をお受けします。事前に参加の申し込みをする必要はありません。開始時刻から参加できなくても構いません。気軽においで下さい。



■ ■ ■ セキュリティ情報 ■ ■ ■

📄 セキュリティホール情報

マイクロソフトより、7 月および 8 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 WindowsUpdate などを実施していただくようお願いいたします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能を ON にする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにしてください。

(1) 7/11 付公開分

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS07-036 Excel の重要な更新	Microsoft Excel の脆弱性により、リモートでコードが実行される (936542)	Excel2000SP3,2002SP3 2003SP2,2007 Excel Viewer 2003 互換機能パック	Office	緊急
2	MS07-037 Publisher2007 の重要な更新	Microsoft Office Publisher 2007 の脆弱性により、リモートでコードが実行される (936548)	Publisher2007	Office	重要
3	MS07-038 Windows Vista の重要な更新	Windows Vista ファイアウォールの脆弱性により、情報漏えいが起こる (935807)	WindowsVista	Win	警告
4	MS07-040 Windows の重要な更新	.NET Framework の脆弱性により、リモートでコードが実行される (931212)	Windows2000,XP,Vista 2003Server	Win	緊急
5	MS07-041 Windows XP Professional の重要な更新	Microsoft インターネット インフォメーション サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される (939373)	WindowsXP Professional	Win	重要
6	MS07-039 Windows の重要な更新	Windows Active Directory の脆弱性により、リモートでコードが実行される (926122)	Windows2000, 2003Server	Win	緊急

(2) 8/15 付公開分

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS07-042 Windows の重要な更新	XML コア サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される (936227)	Windows2000,XP, 2003Server,Vista Office スイート	Win	緊急
2	MS07-043 Windows の重要な更新	OLE オートメーションの脆弱性により、リモートでコードが実行される (921503)	Windows2000,XP, 2003Server, Office2004 for Mac, VisualBasic6.0	Win	緊急

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
3	MS07-044 Excel の重要な更新	Microsoft Excel の脆弱性により、リモートでコードが実行される (940965)	Excel2000,2002(XP), 2003,Viewer 2003, Office2004 for Mac		
4	MS07-045 Internet Explorer の重要な更新	Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム (937143)	Internet Explorer 5.01, 6, 7		
5	MS07-046 Windows の 重要な更新	GDI の脆弱性により、リモートでコードが実行される (938829)	Windows2000,XP, 2003Server		
6	MS07-047 Windows Media Player の重要な更新	Windows Media Player の脆弱性により、リモートでコードが実行される (936782)	Media Player 7.1, 9, 10, 11		
7	MS07-048 WindowsVista の 重要な更新	Windows ガジェットの脆弱性により、リモートでコードが実行される (938123)	Windows Vista, Vista x64 edition		
8	MS07-049 Virtual PC および Virtual Server の 重要な更新	Virtual PC および Virtual Server の脆弱性により、特権の昇格が起こる (937986)	Virtual PC 2004, Virtual Server 2005, Virtual Server 2005 R2, Virtual PC for Mac		
9	MS07-050 Windows の 重要な更新	Vector Markup Language の脆弱性により、リモートでコードが実行される (938127)	Windows2000,XP,Vista 2003Server		

 は WindowsUpdate,  は OfficeUpdate から更新を実行します。

なお、Office が 2002(XP)以降なら MicrosoftUpdate を利用すると、まとめて実行することができます。

注意 **警告** **重要** **緊急** は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

その他のソフトウェアのセキュリティホール情報

Windows や Office だけでなく、その他の様々なソフトウェアについても脆弱性に関する情報が公開されています。普段から、自分が日常的に使用しているソフトウェアについては、インターネットを通じてセキュリティ情報に留意するようにしてください。また、脆弱性に関する情報が公開された場合は、メーカーやソフトウェアの作者の Web ページなどから、更新プログラムなどを速やかに適用するようにしてください。

参考までに、最近公開された脆弱性に関する情報をお知らせします。各ソフトウェアの利用者は、メーカーや作者のホームページで情報を確認し、更新プログラムを適用してください。

①6/26 圧縮解凍ソフト「+Lhaca」のデラックスバージョン 1.20 における脆弱性(既にこの脆弱性に対する攻撃が確認されています) 通常版は問題ありません

→ バージョン 1.23 が公開されています <http://park8.wakwak.com/~app/Lhaca/>

②8/3 ワープロソフト「一太郎」のバージョン 11～2007 における脆弱性(既にこの脆弱性を悪用するウィルスの存在が確認されています)

→ 8/9 セキュリティ更新モジュール公開 <http://www3.justsystem.co.jp/download/>

③8/10 ウィルス対策ソフト「Norton AntiVirus 2006」「Norton Internet Security 2006」などにおける脆弱性

→ LiveUpdate を行うことで更新プログラムが適用されます。

④8/20 圧縮解凍ソフト「Lhaz」のバージョン 1.33 における脆弱性(既にこの脆弱性に対する攻撃が確認されています)

→ 8/21 ベータ版(バージョン 1.34 β 2)公開 <http://www.chitora.jp/lhaz.html>

プロジェクト K (科学技術教育班だより)

7・8月の事業から 初夏の昆虫観察会

日時 7月7日(土)
会場 西山自然体験交流施設「ゆうぎ」
講師 根立 祐之助 様・荻野 誠作 様・川又 昌弘 様
内容 昆虫観察・採集・名前調べ・昆虫標本の作り方
ミヤマクワガタ、チョウやトンボの仲間など数多くの昆虫に触れることができました。



科学研究の進め方

日時 7月10日(火)
会場 柏崎小学校
内容 うなり木の実験・ストロー笛の工作を交え、科学研究を学習しました。

ストロー笛

多様性の星地球昆虫展

日時 8月15(水)～19日(日)
会場 柏崎市立教育センター 多目的研修室
内容 マロニエ昆虫館(栃木県)からの出展により、言葉の中に登場する虫について充実した展示会になりました。



要請訪問

日時 7月10日(火) 科学研究の進め方 柏崎小学校
内容 7月12日(木) 植物標本の作り方 刈羽小学校
8月28日(火) 皆既月食・夏の星空観察会 刈羽小学校

この度の中越沖地震の影響により、一部事業の中止を余儀なくされました。

そこで、7・8月に中止となった研修会の内容についても、でき得る限り個々に対応いたします。お気軽にお問い合わせください。

不要薬品の処理について

地震直後に延期の連絡をしておりましたが、先日市内各学校へのご案内のとおり、不要薬品の引取を行います。8月27日(月)～9月6日(木)に所定の様式での事前申請を科学技術教育班へFAXしてください。

その後、9月25日(火)～27日(木)9:00～16:00に薬品をセンターに搬入し、直接科学技術教育班職員に渡してください。(立ち会いの下、リストとの照合が必要です。)

地震の影響などで、容器が破損した場合は、他の密閉できる容器に移して搬入してください。

容器が破損し液体が飛散した場合は、乾燥砂をまいてスコップ等で広口びんにできる限り移し、ふたをするなどして保管をします。(参考文献 学校における薬品管理の手引 四訂版 新潟県学校薬剤師会・新潟県学校保健会)

また、ホルマリン標本や、水銀温度計なども液体がこぼれないように密封した状態であれば回収できます。段ボールなどに薬ビンを入れ、薬ビンが動かないように新聞紙などの緩衝材を詰めて持参してください。

9月の予定について

小学校第6学年「電気のはたらき」 11日(火)
各学校からの要請研修 など

平成19年9月5日

心の窓 (教育相談班だより) No. 98

柏崎市立教育センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号
(代表) 23-4591 (Fax) 23-4610

このたびの中越沖地震に対してお見舞い申し上げます。
今までご不便をおかけしておりましたが、9月から正常の業務になりますので、よろしくお願いたします。

教育相談班の9・10月の予定

《ふれあいルーム》

- ・ 8月28日(火) 通級開始日
- ・ 9月11日(火)～12日(水) 宿泊体験
- ・ 10月2日(火)～4日(木) 三者面談
- ・ 10月4日(木) 前期通級終了日
- ・ 10月9日(火)～18日(木) 学校訪問
- ・ 10月12日(金) 後期通級開始日
- ・ 10月26日(金) 陶芸教室(1) 予定

《カウンセリングルーム》

*いろいろ体験グループ前期第4回変更日程のお知らせ(9月:教育センター)

- ・ 小学生Aグループ 8月10日(金) 9月7日(金)午後4時～午後5時
- ・ 小学生Bグループ 8月17日(金) 9月14日(金)午後4時30分～
午後5時30分
- ・ 小学生Cグループ 8月10日(金) 9月7日(金)午後4時30分～
午後5時30分
- ・ 中学生第1グループ 8月24日(金) 9月21日(金)午後6時30分～
午後8時
- ・ 中学生第2グループ 8月31日(金) 9月28日(金)午後6時30分～
午後8時

*いろいろな体験グループ後期第1回実施日程のお知らせ(10月:教育センター)

- ・小学生Aグループ 10月12日(金)午後4時~5時
- ・小学生Bグループ 10月19日(金)午後4時30分~午後5時30分
- ・小学生Cグループ 10月12日(金)午後4時30分~午後5時30分
- ・中学生第1グループ 10月26日(金)午後6時30分~午後8時
- ・中学生第2グループ 11月 2日(金)午後6時30分~午後8時

《学校訪問相談》

平成19年8月20日付で配布しました「平成19年度(9月~12月)訪問予定表」のとおり訪問いたします。

(ご都合の悪い場合は、各学校訪問相談員に連絡ください。)

震災後の「心のケア」について

カウンセリングルームでは、子どもさんに関する通常の教育相談とともに、中越沖地震に被災された「児童生徒の心の相談」に応じえています。

不安な症状が長引くなど、心配な方はご相談ください。
相談は電話予約が必要です。

カウンセリングルーム 電話32-3397

へご連絡ください。

*今月号は、特別の編集にいたしました。来月号から通常の教育相談班だよりでお届けいたします。

URL <http://kedu.kenet.ed.jp/> から教材検索できます(ゲストをクリックして「視聴覚教材 DB」を選択)
E-mail kasikari@coral.ocn.ne.jp 945-0833 柏崎市若葉町 2-31 TEL・FAX 0257-23-1168

教材・機材の貸し出し 通常通りご利用ください

7月16日に発生した中越沖地震から早くも2ヶ月が経とうとしています。突然の大地震により見慣れた町並みも一変、教育センターも大きな被害を受けましたが、幸いなことに視聴覚ライブラリーでは教材機材の破損・故障もなく通常通り貸出業務を行っています。1学期のまとめに向けた授業や秋の様々な行事でおおいにご活用ください。



がんばろう！輝く柏崎

新しい教材が入荷しました！

貸出開始しています

管理番号 V/ビデオ D/DVD

	番号 タイトル	対象 時間		番号 タイトル	対象 時間
同和教育	V15-097 同和問題 これからの課題 同和对策事業の33年間を総括し これからの同和問題を考えます	中学生 以上 28分	環境教育	V18-050 MOTTAINAIで地球を守ろう1 ワガリ・マタイさんの勇気ある取組 みを通して環境問題を考えます	中学生 以上 15分
	V09-133 小学校保健 自転車大好き	小学 (中) 10分		ドラマ	V31-082 泥棒と殿様 時代劇。町内会での映写にどうぞ
交通安全教育	V09-134 オズの魔法使いの交通安全 ドロシーと一緒に交通ルールを楽 しく学びましょう！	幼児～ 小学(低) 12分	アニメーション	V40-059 10ぴきのかえる 楽しいミュージカルアニメ	幼児～ 小学(中) 20分
	V09-135 安全な自転車のルール 中学生に最適の新作です！	小学(高) 以上 20分		V40-060 注文の多い料理店 宮澤賢治原作のアニメーション	小学生 23分
防災教育	V09-136 忍たま乱太郎の 地震用心・火の用心	幼児～ 小学(中) 11分		D40-006 ASTRO BOY 鉄腕アトム 心を持つロボット・アトム誕生！	小学生 24分



注目！ 防災ビデオを購入しました。災害は突然やってきます。日頃の備えが大切です。



出張映写会を実施しました

8月24日(金)にゆりが丘子ども会・ふれあいサロン、8月26日(日)に鯨波コミュニティセンターで出張映写会を実施しました。地震後、子どもたちの楽しい夏休みの思い出になればと企画したところ2地区から申込みをいただきました。あわせて100名ほどの参加があり、子どもたちは元気な様子で映写を楽しんでいた様子。映写にご協力いただいた方大変ありがとうございました。

- (上映作品)
- ・ポン太くんのおてがら F
 - ・ドナルドダックとゆかいなペンギン F
 - ・トイレの花子さん F
 - ・10ぴきのかえる V
 - ・じごくのそうべえ V
 - ・ASTRO BOY 鉄腕アトム D

大人も子どもも大笑い



鯨波コミセン会場

プロジェクタ・16ミリ映写機の使い方 お教えします!

16ミリ映写機は操作できるけどプロジェクタはなんだか難しそう・・・と思う方はいらっしゃるいませんか?ご家庭でビデオやDVDを観るのと同じようにテレビよりも大きなスクリーンで映像を楽しめます。接続は意外と簡単です。いつでもライブラリーにてお教えできますのでお気軽にお問い合わせください。16ミリ映写機を使ってみみたい方もぜひどうぞ!

これからの機器講習会日程は下記のようになっています。そのつど広報いたします。ふるってご参加ください。

機器講習会
予定表

マックスアート(長尺印刷)操作講習会	10月19日(金)15:00~	定員 5名
デジタルビデオ編集操作講習会	12月26日(水)13:00~	定員 5名
液晶プロジェクタ操作講習会	1月17日(木)13:00~	定員 20名

今月のおすすめ教材

	管理番号	タイトル	分
防災教育	V09-059	本気で地震対策していますか	15
	V09-094	小学生の生活安全シリーズ 地震と安全 - 阪神大震災に学ぶ -	15
	V15-067	僕は、あの日を忘れない 今できることすぐできること 阪神淡路大震災に学ぶ	24
小学校理科	V02-030	月と星の動き	13
	V02-031	星座の観察	12
	V02-035	天気の変化	15
	V04-001	自作教材 地層 - 聖が鼻 -	20
	V04-028	地層からわかること	13
	V02-039	大地のつくりと変化(1)	14
	V02-040	大地のつくりと変化(2)	14
小学校社会科	V08-092	自動車工場をたんけんしよう!	15
	V07-039	消防署の仕事を見てみよう	10
保健	V09-052	免疫とエイズ	22
	V09-121	病気にならない体をつくる - 小学生の生活習慣病予防 -	14
同和教育	V15-078	あした元気になあれ - 元気配達人・松村 智広 -	27
	V15-094	峠を越えて - 魂の同和教育実践者・森口健司 -	25
	V15-070	洪染一揆 - 明日に架ける虹 - (アニメーション)	30
アニメーション	040-139	ドナルドダックと魔法使い(16ミリ)	10
	040-161	お月様とうさぎ(16ミリ)	10
	D40-001	山古志村のマリと三匹の子犬(DVD)	45

教育センターコンテンツサーバで教材目録(PDF)を閲覧できます。

育成センター通信	0709号	柏崎市青少年育成センター
		〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

9月の予定

日	曜	ことから	日	曜	ことから
3~14	月~金	高校の下校育成活動	28	金	昼間下校育成活動
19	水	昼間下校育成活動			
25	火	昼間下校育成活動			

7月16日 午前10時13分 中越沖地震発生のため、
7月、8月に計画していた青少年育成センターの事業は
全て中止としました。従って、以下の記事は、それ以前の活動の様子です。

ご了承ください。

高校の下校育成 6月18日~29日

柏崎駅で、机に腰を掛けていた女子高生に声をかけたら、素直に机から離れた。掃除をしている人によると、越後線の階段でタバコを吸っている高校生らしい姿を見つけるが、注意できないとのことである。高校生が育成委員の姿を見ると態度が違うので、育成委員がホームにいると助かるとのことであった。私は、駅で高校生対象の下校育成活動をしてからいつも思うことだが、高校生の駅での姿を親からも見てもらいたいと思う。態度、言葉遣い等等を。

安田方面からの電車が到着すると、大勢の高校生が下車してきた。ズボンを下げる等服装の乱れた高校生が多くいたので、その内の一人に声をかけた。「このほうが歩きやすい。」と言って聞いてもらえなかった。ホームの待合室に残りそうになっていた高校生に声をかけて帰ってもらった。駅前にも2グループがいたので帰るように声をかけた。

駅前公園では中学生のグループに出会った。「いつまでも油を売っているな。」と言うと、「油を売るとはどういうことか。」と逆に質問された。エンマ市の余波か公園や地下道にゴミがたくさん散乱していたので拾い始めたが、あまりの多さに途中で拾うのをあきらめた。柏崎市民のマナーの向上が望まれる。5時ごろのホームにはジベタリアンが見られた。

駅で高校生に挨拶するも、 高校生のよう元気な挨拶の反応が少ない。駅を離れて

フォンジェに行った。ゲームコーナーの係員にいつもしている育成活動に対して感謝された。現在は、エンマ市が終了したのでゲームコーナーもたいへんひまになったとのことである。

今日は雨のせいかジベタリアンは少なかった。しゃがんでいる女子高生に「下着が見えないように注意してね。」と声をかけた。腰パンの男高生4人に「腰パンしてかっこいいの。」と聞いたら、「かっこ悪いからやめた。」という子と「いいじゃん。」とわざわざズボンを下げて見せる子がいた。私は普通にはいたらいいと思うのだが・・・。
雨で蒸し暑いせいか今日は駅構内でジュースを飲む子、アイスクリームを食べる子が目立った。「おいしい。」と聞くと「おいしい。」と言う。だから「やめなさい。」とは言えなかった。

ケイタイでメールしている子が目立った。その内の一人に聞いた。「どのくらいケイタイに使うの。」「1カ月に50,000円、親が出してくれる。」親は甘すぎるし、子は使い過ぎだと思う。聞けば女子高生の平均は20,000円だとか。

駅南に書店が開店した。広い店内、高い書棚、万引きが心配。

駅の机の上に鏡を置いて化粧をしている女子高生に言った。「化粧をする机ではないのよ。」すると一人は「鏡を見ているだけです。」もう一人は「はい。」と言ってやめたが、机に30分は座っていた。でも、以前に比べれば女子高生が素直に応えるようになったと思った。慣れたからだろうか。ジベタリアンは一人もいなかった。

駅前交番の方が「毎日、3時40分ごろ駅前に有職少年4人がたむろしている。声をかけてもあまり効果がない。」と言っていた。しかし、その後、育成委員2人が以下のように対応したところ、素直に言うことを聞いたそうである。

ある日、駅前で4人がたむろしていた。聞けば、高校中退や中学校卒とのことである。あたりにゴミを散らかしていたが、通行人は見て見ぬふりをして通り過ぎていた。私たちは、「このちらかしているゴミをどうするの。ゴミ袋が無いのならこのティッシュペーパーの袋に入れなさい。」と言ったら、4人が素直にゴミを集めて拾ってティッシュペーパーの袋に入れた。私たちはその場を離れて様子を見ることにした。すると、駅や交番の人が来て4人を怒っていた。しばらくしたら、4人は解散しそうになったので私たちは再び近づいて、「気をつけて帰るように。」と声をかけた。

駅南の書店に行った。「ここでは以前万引きがあったそうなので、専門の係りを置こうと考えている。育成委員のこのような活動は今後も続けてほしい。万引き防止のステッカーも積極的に店内に貼りたい。」とのことだったので、後日、ステッカーを持参すると約束してきた。

長岡方面から下車する高校生はあまり挨拶しないが、柏崎駅から乗車する高校生は挨拶をよくする。

初めて高校生対象の下校育成活動に参加したので緊張したが、声かけや挨拶に素直に伝えてくれる高校生が多くいたのでほっとした。先輩の育成委員のみなさんから、高校生と同じ目線で声をかけると相手が応えたり、話したりしてくれると学ぶ、声かけの大切さを改めて実感した。次回はもう少し積極的に声かけをしたいと思った。

今年度、育成委員の半数が新人である。しかし、先輩の育成委員から声かけのやり方を学んで使命感・責任感のある育成委員が育ちつつある。

連日の高校下校育成活動の成果でしょうか、高校生との会話、挨拶等良い感じだった。駅構内外とも悪い様子は全くなし。ホームの待合室で男子高生13名ほどジベタリアンをしていたが、声をかけたら気持ちよく応じてくれた。越後線の待ち時間が長いので車内に入ったが、気になることが無かった。高校生は笑顔で家のこと、来週からのテストのこと、赤点補習のこと、両親のことなどいろいろ話してくれた。楽しい下校育成活動だった。

駅にはジベタリアンや不審な行動の学生はいなかった。新育成委員の中学校の先生は、たくさんの教え子に会って感動していた。育成委員の仲間に先生方がいると心強い。もっと、現場の先生方からも育成活動に参加していただきたい。



このポスターは、県民会議の許可を得て掲載

今年度、たくさんの小中学校の先生方が育成委員に委嘱されたが、どなたも積極的に育成活動に参加してくれるので、市民からも、子どもからも、育成委員から、とてもいい評価をいただいています。高校の先生方も育成活動に協力してくれますので、ありがたいことだと思います。今後も学校との連携で柏崎市の青少年健全育成活動を推進したいと思います。

「育成委員が駅にいる時は、高校生の態度が非常に良い」との声をたくさん聞きます。

例えば、ジベタリアンについて省みると、

1. 高校生は悪いと分かっている、ジベタリアンをするようです。
2. 多くの大人はそんな高校生を見ても、見て見ぬふりをして通り過ぎるだけです。
3. しかし、育成委員が高校生のジベタリアンを見ると、いつも声をかけるので、ジベタリアンをやめるのではないのでしょうか。
4. 大人を見ている高校生の目、問われているのは大人のように。

柏崎駅で高校生の下校育成活動をしている育成委員から「どこの高校の制服かわからないので、高校から制服の写真を借りてほしい。」との要望があった。先月、高校に制服写真提供の依頼をしたところ、市内5校の高校から制服写真を提供していただいた。関係の高校のみなさん誠にありがとうございました。今後も市民の力を借りながら高校生の育成活動を充実させたいと思います。これからもご協力ください。

自動販売機の立入調査 7月12日

育成センターでは、新潟県青少年健全育成条例第27条の規定に基づき、7月12日夜、市内全域で、第1回有害図書自動販売機立入調査を行いました。参加した人数は、青少年育成委員と青少年育成センター職員の20名です。今後、この調査結果に基づいて、必要な措置をとる予定です。市民のみなさんのご支援をお願いします。

昨年秋、PTA 一日育成活動に参加した保護者の声

- ・有害図書自販機をできるものなら撤去してほしい、地域から声をあげていきたい。
- ・初めて、子どもの目が届くところに、有害図書自販機があることに気づいた。
- ・鯨波に、有害図書自販機があることに驚いた。

教育センター・育成センター所報「ガリレイ」2006年11月号に掲載済

今回、立入調査に参加した育成委員の声

- ・店内が暗くて、陳列してある商品の題名や写真が見えにくかった。懐中電灯がほしかった。
- ・初めて見た。いい勉強になった。効率的に調査するには、一人一スタンドを担当したほうがよいのではないか。
- ・たくさんの種類があった。一つのスタンドに商品が16~24個入っていた。
- ・日中は販売していないのでよく見えないので、夜間の調査は妥当であった。



事前の説明会



立入調査実施

おめでとうございます



この度、新潟県青少年健全育成県民会議が、青少年健全育成功労者として表彰した中に、当市のお二人が該当していました。柏崎市青少年健全育成市民会議の大島正忠様と岩間由朗様(写真は岩間様の表彰状)です。おめでとうございます。お二人は、現在、青少年育成委員としてもご活躍中です。今後もよろしく願います。

9月から育成センター事業再開のお知らせ

平成19年8月7日

青少年育成委員 各位

柏崎市青少年育成センター
所長 涌井昭夫

9月から育成センター事業再開のお知らせ

再度、中越沖地震のお見舞い申し上げます。震災に遭遇されたみなさんの一日でも早い立ち直りを心から祈念しています。

さて、育成センターでは、育成活動を含む全ての事業を9月から再開する予定です。無理のない範囲で事業に参加していただきますよう、お願い申し上げます。

なお、今後の活動の参考にしますので、みなさんの被災の様子をお知らせください。
(育成センター電話 20-7601)

元気いっぱい夏の日をあそんだin苗場 報告

8月26日(日)に被災地の子どもたちに少しでも元気になってほしいと、苗場プリンスホテル・苗場スキー場様が「元気いっぱい夏をあそぼう in 苗場」と子どもたちを苗場に招待しました。参加者全員、午前中は、日本一高いロープウエーと世界一長いゴンドラを堪能するとともに、お昼は苗場プリンスホテルのバイキングで腹いっぱいごちそうになり、午後は「真夏の雪のそり遊び」「ゴーカート」「シューティング」「釣り堀」「テニス」等で時間いっぱい、思いっきり遊びました。

募集人数は小学校4年生以上の小中学生100名の予定でしたが、150人の応募がありました。150人全員がゆけるように、南越後観光のバスとともに市のスクールバスも使っていただきました。当日は143人が参加しました。

なお、このイベントの窓口を市青少年健全育成市民会議が担いました。山崎会長はじめ役員10人が引率指導、そして行動をとともにしました。



田代に到着

世界一長いロープウエーよりの展望



参加者代表がお礼の言葉を

思いっきり夏の日をあそぶ

参加したこどもたちの感想

今日は世界一長いゴンドラ、日本一長いロープウエーの乗ってちょっとドキドキで楽しかったです。とても楽しい思い出ができました。この楽しかった思い出を柏崎の人たちに味わってもらい、つらい思い出を吹き飛ばしてほしいです。

僕は、夏休みに地震のせいで、ばたばたしていてそんなに楽しくなかったけど、ゴンドラやアトラクションがあり、とても楽しかったです。ありがとうございました。

地震があつてから、今までほとんどが避難生活でした。今日は夏休みのいい思い出になりました。ありがとうございました。

地震で行事がなくなったけれど、今日でこわさがふっとんだ。そして今日は夏休みのいい思い出になった。



珍しい昆虫に目を見張る子どもたち。市立教育センター

昆虫標本に「すごい！」

栃木から移動展
19日まで

市内若葉町の市立教育センターで十九日まで、栃木

県民の森（栃木県矢板市）にあるマロニエ昆虫館の柏崎移動展が開かれている。独特の展示手法で珍しい昆虫標本が並び、子どもたちは大喜びだ。同館は、寄贈の昆虫標本など約二万点を收藏し、一

部貸し出しを行っている。移動展では「ことわざの中の虫たち」「文学作品に登場する虫たち」などに分け、いろいろな虫の標本が並んだ。ヘッセのクジヤクヤママユ、北杜夫のアポロチョウなどもあり、南米ホリビアのヘラクレスオオカブト、天空のチョウといわれるバルナシウスなどが目を引く。

比角小五年の武江晃生君は「カブトムシが好き。珍しいものがたくさん見られてすごい」といい、母親の美佐江さんは「展示の仕掛けが面白い」と見入った。ボランティアで解説に当たる栃木県職員・新部公亮さんは「柏崎の子どもの夏の夏休みの思い出になればとえりすぐりの展示。多様性を持たせ、展示にも工夫した」と話した。会期中は午前九時から午後五時まで。入場無料。

苗場で遊んで 元気になろう

被災地の小中学生を
26日無料招待

南魚・湯沢町の苗場プリンスホテル・苗場スキー場が二十六日、中越沖地震被災地の小学四年生以上と中学生を無料招待する。

同ホテルが被災地の子どもたちから少しでも元気になってもらいたいと企画した。日本一高いロープウェイと世界一長いゴンドラによる空中散歩、真夏の雪のソリ遊びなどが楽しめる。昼はホテルでバイキング。参加費は無料（交通費、昼食代、園内の遊具使

用料）。ただし、昼食以外の飲食代などは参加者負担。当日は午前八時に市内三和町の県柏崎地域振興局駐車場に集合、午後六時解散の予定。南越後観光バスが送迎する。募集は百人。参加希望者ははがき、ファクスで住所・氏名・学年・電話番号 保護者名を記入し、窓口の市青少年健全育成市民会議（〒945-0833、市内若葉町2-31、教育センター内、ファクス23-4610）へ。応募締め切りは二十二日（必着）。グループでの申し込みもできる。応募多数の場合は抽選。抽選にもれた人へは二十四日ごろまでに連絡するという。問い合わせは同会議（電話20-7601）へ。

教育活動の回復を

市教委が小・中校長会

市教育委員会は二十一日、市内三十九校の小・中学校長会を市立教育センターで開いた。夏休み明けの授業開始を前に、現況報

告、今後の対応などを協議し、教育活動をできるだけ早く通常に戻すことで一致した。

校長会は中越沖地震直後



夏休み明けの授業開始前に行われた市内小・中学校の校長会

の七月二十三日に小学校、同十八日に中学校がそれぞれ合を持ち、現状などを確認した。合同の校長会は地震発生後初めて。市教委は水、ガスといったライフラインが未復旧の学校、深刻な被害を受けた学校施設などの現況を報告した。

また、施設、設備の復旧・補修の見通し、給食の再開、授業日数・指導時間・指導内容の確保などを協議した。この中で「学校の施設は授業には支障がない。ライフラインの復旧をまず考え、全体規模を見ながら、深刻な所から取り組みたい」「それぞれの学年相応に必要な授業内容の確保を」と述べた。

さらに、心の相談室などの利用状況が示された。夏休み明けの心のケアとして、「日常の教育活動を回復させ、子どもたちの笑顔を取り戻すことが大切」などと確認した。出席した校長からは「下水道が使えず一日も早い復旧を」などの要望、「家屋の被災による学区外通学はどうなるのか」などの質問が出された。市教委は被災で教科書をなくした児童生徒には補てんすることも説明した。

柏崎抄

▲突然の大災

害による臨時休業、いきなり異例の夏休み入りした子どもたち。大災害が与えた心や体への

ストレスはわれわれ大人以上に、子どもたちは敏感だ
▲二十一日、市立教育センターで開かれた小・中学校校長会で、小林東・市学校教育課カウンセラーは心のケアの対応状況を説明した。中越沖地震の直後から柏崎小で開設した「緊急心の相談室」には三十七件、延べ八十二人の相談が寄せられたという▲未就学児、小学低学年が約六割、小学高学年、中学生などが残り、物を食べられない、ちよっとした物音でもびくつくな

と保護者からの不安が寄せられた。一方で、県調査ではカウンセリングが必要な小学生は四百人、中学生は九十八人に上り、市内全児童生徒の約六・八%に当たる結果も見逃せない▲小林カウンセラーは「いつもと違う大災害というできごとがあったのだから、どの子にも起こりうること。およそ一カ月くらいで落ち着くので、驚かないで」という。「子どもたちを力強く励ましてあげてほしい」
「日常活動の回復が子どもたちの笑顔を取り戻してくれる」とも語った▲西山町の避難所イベントで、一組の親子に出会った。地震の時に友だちと遊んでいたという小四の男子児童は恐怖で青さめ、家族で車中泊も体験した。常に息子と一緒に

にいた母親は「たくさんのボランティア、地域の励ましのおかげで、子どもは自然に普通に返ることができました」。改めて親子のきずな、周囲の人々の思いやりの大切さを知った▲二期制をとる市内では、各年で順次、夏休み明けの始業となっていく。柏崎の大事な「宝」である子どもたちが元のように元気な学校生活に戻ってほしい。(田)

柏刈全校に教員 54 人増

県教委 学習支援や心のケア 小中学校

県教育委員会は二十四日、柏崎市をはじめ、中越沖地震被災地の小・中学校を対象に、九月から教員を

六十五人増やすとした。文部科学省の「教育復興加配教員」の配置決定に伴う特例措置。被災地の学校

現場で、児童生徒に対するきめ細かな心のケア、臨時休校などによる学習の遅れの回復が課題になる中で、

少人数の学習支援などに当たる。対象校は柏崎、刈羽、長岡、上越の三市一村の小・中学校合わせて五十二校。このうち、柏崎、刈羽とも全校が対象で、柏崎が三十九校に五十一人、刈羽は二校に三人の合わせて五十四人が配置される。

平成19年度

9月の予定表

柏崎市立教育センター

日曜	研修・センター行事・会議	学校訪問	出張・その他関係事業
1 土			上越会議(植木)終日
2 日			
3 月	所内会議 13:00~		
4 火			
5 水			
6 木	研・校務の情報化研修「疑問やトラブルに答えるフリーQ&A」16:00~	鏡が沖中学校訪問(赤)10:00~ 第一中学校訪問(滝)10:00~	ガリレイ9月号発行
7 金	研・英語研修「小中連携英語教育」15:00~17:00 相・いろいろ体験グループ(小学A/Cグループ)16:00~		*退職校長会(第一研修室)13:30~
8 土			
9 日			
10 月			
11 火	研・教育相談研修「保護者対応・相談のコツ」15:00~17:00 科・理科研修「小学校6学年 電流のはたらき」15:00~17:00 ふ・妙高宿泊体験活動~12日	第二中学校訪問(赤)10:00~ 第三中学校訪問(滝)10:00~	
12 水	研・算数数学研修「算数数学教材研究」15:00~17:00		就学相談(元気館:小林)PM *教員評価研修(学校教育課:多目的研修室)PM
13 木			柏崎小学校講演(小林)14:30~
14 金	研・養護教諭研修「学校における救急対応について」15:00~17:00 研・校務の情報化研修「ネットワーク提供型コンテンツの活用(KENET,コンテンツサーバーを含む)」15:00~17:00 相・いろいろ体験グループ(小学Bグループ)16:30~	第五中学校訪問(滝)10:00~	
15 土			
16 日			
17 月			
18 火		東中学校訪問(赤)10:00~	
19 水		瑞穂中学校訪問(滝)PM	*柏崎市・刈羽郡教頭会(多目的研修室)14:30~
20 木		南中学校訪問(赤)10:00~ 北条中学校訪問(滝)10:00~	
21 金	相・いろいろ体験グループ(中学グループ)18:30~		
22 土	ふ・OB・保護者との交流会(シーユース雷音)		
23 日			
24 月			
25 火	科・不要薬品搬入~27日(木)まで	高柳中学校訪問(赤)10:00~ 西山中学校訪問(滝)10:00~	
26 水	研・学校経営・学校園連携「子どもの虐待防止について」15:00~17:00 研・校務の情報化研修「Word活用4(指導案の効率的な作成)」15:00~17:00		*はまなす養護・柏崎養護学校合同高等部説明会(第一研修室)13:00~17:00
27 木	研・校務の情報化研修「基礎から学ぶICT活用(スクリーニング2)」15:00~17:00	比角小学校訪問(赤)15:30~ 柏崎小学校訪問(滝)15:30~	
28 金	科・剣野小学校科学クラブ要請 相・いろいろ体験グループ(中学グループ)18:30~		
29 土			
30 日			
<p>今月の催し</p>		<p>研 = 教育研究班 科 = 科学技術教育班 ラ = 視聴覚タイプラ 相 = 教育相談班 ふ = ふれあいルーム 訪 = 学校訪問 出 = 出張 (滝) = 滝澤学校訪問相談員 (赤) = 赤川学校訪問相談員 * = センター施設貸し出し</p>	

10月

1 月		<p>10月の催し</p> <p>参加をお待ちしております!!</p>
2 火		
3 水		
4 木		
5 金		

教育センター事業の参加・利用状況(7・8月)

研修講座・事業名		7月の 利用数	8月の 利用数	8月末までの 利用合計数	18年度の 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座 *	4回	0回	14回	56回	
		79人	0人	287人	1,810人	
	学校の要請研修会	0回	0回	0回	5回	
		0人	0人	0人	25人	
	調査研究員会, 教科研修員会	2回	0回	4回	10回	
		15人	0人	30人	40人	
	教育情報化研修講座 *	4回	0回	18回	41回	
		18人	0人	147人	529人	
情報教育主事の要請支援等	10回	4回	42回	98回		
	173人	97人	467人	865人		
その他の相談・利用・参加数	3回	3回	15回	38回		
	5人	3人	23人	67人		
教科書センター利用閲覧数	4人	2人	195人	413人		
科学 技術 教育 班	理科研修講座 *	0回	0回	9回	12回	
		0人	0人	91人	173人	
	学校等の要請研修	2回	1回	7回	15回	
		91人	35人	337人	365人	
	地域の自然研修・観察会	1回	0回	6回	9回	
		54人	0人	236人	586人	
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)	0人	650人	3050人	10,140人	
	理科教育の相談・支援	24件	66件	168件	289件	
理科教材・物品の貸出	6件	7件	50件	147件		
(教職員研修の合計)	12人	10人	269人	799人		
教育 相談 班	カウンセリングルーム来室相談	新規	7件	8件	94件	209件
		継続	23件	11件	180件	645件
	学校訪問相談		7回	0回	50回	140回
	家庭訪問相談		2回	0回	10回	118回
			1人	0人	3人	38人
	電話相談		2件	1件	6件	40件
	ソーシャルスキルトレーニング		2回	0回	12回	32回
			8人	0人	61人	187人
	ふれあいルーム通級人数	小学生	2人	2人	7人	12人
中学生		12人	13人	58人	199人	
ふれあいルーム通級日数		10日	4日	71日	193日	
同上 学校復帰数(部分復帰を含む)		0人	0人	9人	17人	
視 聴 覚 ラ イ ブ ラ リ ー	16ミリフィルムの貸し出し	10本	4本	41本	166本	
	ビデオテープ・DVDの貸し出し	29本	39本	146本	506本	
	視聴覚機材の貸し出し	46台	32台	291台	619台	
	編集, 借用, 相談等の来室者	64人	47人	314人	1,160人	
	機器操作研修会	0人	2人	15人	38人	
	親子映写会・児童クラブ映写会	0人	100人	100人	0人	
	教育団体, P T A, 市民等の利用	430人	929人	2093人	3,304人	
教育センターにおける教職員研修講座 (* 印の合計)	8回	0回	41回	109回		
	97人	0人	525人	2,512人		
教育センター事業の参加・利用総数		1,111	2,048	8,556	22,809	

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、分析と統合との経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

これまで、新しい教育を創り出す私たちにも、ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる検証と気概が必要であるという趣旨から、「がりれお」を発行してきました。この精神を引き継ぎ、平成17年度から「GALILEI」という名称で、教育・育成センターの情報を広く皆様に発信しています。



945-0833 新潟県柏崎市若葉町2 31

柏崎市立教育センター

TEL 0257-23-4591
FAX 0257-23-4610

柏崎市青少年育成センター

TEL 0257-20-7601
FAX 0257-23-4610